

一言、ご挨拶申し上げます。

ふるさと島根定住財団は設立20周年を迎えますが、県民の皆様や各市町村の当局の支援により定住が進んでいることに対し、心より感謝申し上げます。

財団設立の平成4年は、島根県の人口が初めて自然減に転じた年であります。

県ではこの年を「定住元年」と位置付け、「ふるさと島根定住財団」を県内若年者やU I ターン希望者の県内定住の総合窓口として設立したのであります。

その後、平成8年には定住促進に向けた取り組みを拡充しました。

たとえば、地域づくりや地域活性化の先導的な事業への支援、U I ターン者の住まい確保や情報発信、全国に先駆けた「産業体験事業」の実施などがそうであります。

定住財団は、こういった全国でもトップクラスの取り組みを積極的に展開し、数々の成果をあげてきました。

一方、この20年の間には、U I ターンに力を入れる自治体が増え、地域間競争が激しくなってきました。

県は、U I ターン希望者の支援をワンストップできめ細かくサポートする「定住支援員」を全市町村に配置したり、体験事業の助成額の増加、市街地定住などU I ターン施策の更なる強化・拡充に取り組んでいます。

今後も県としては、ふるさと島根定住財団、市町村や関係機関と一緒に定住の促進に全力をあげてまいります。

最後になりましたが、20周年を節目とし、ふるさと島根定住財団の益々の発展と更なる飛躍を期待するとともに、参加者の皆さまの一層のご活躍とご健勝を祈念し、ご挨拶いたします。